

Fusyo Collaboration letter



7月 8日 No.14 文責 廣田 秀俊

1年生 おはし名人になろう！

「おはしを上手に使えるといいことは何だろう？」と先生からの問いかけに、子どもたちの声が返ってきます。「ごはんを食べやすい」「つかみやすい」「食べ物を落とさない」「きれいに食べることができる」等、たくさんの良さが出てきました。



机の上におはしとお皿、そしてお皿の中に大豆が用意されました。“5秒でつかんでみよう”と子どもたちのチャレンジが始まります。「がんばってもとれない」「つかめなかった」「大豆が逃げていく」「ツルツルして取りにくい」。どうやらこの挑戦はかなり困難のようです。

「上手になりたい！」の声に、どうしたらいいのだろう？とみんなで考えていきました。練習をして上手に使うため、おはし名人になる目標を設定しました。



栄養教諭からのアドバイスを聞いていきます。正しいはしの持ち方は、“一本のはしを親指と人差し指を使って鉛筆と同じようにもつ”それから“もう一本のはしを持っているはしの下に通す”です。ポイントは“中指が間にくるようにすること”。「こうかな？」「全然分からない」「できた！」先生が近くに來ると、「こうするの？」と確かめている子どもたちの姿がありました。



まだまだ難しさが解消できない子どもたちに、スペシャルカードの提示がありました。“おはし練習カード”です。上下に穴が空いています。上には大きな四角い穴。下には小さな丸い穴。そこにはしを通して上手に動かす練習をしていきました。

「できるようになった？」「まだ、むずかしい！」「どっちのはしを動かすの？」「上のはしだけ！」練習を続けていると、「これお家でも練習したい！」の声があがりました。スペシャルカードは栄養教諭のプレゼントとして家に持ち帰れることになりました。お家でもどんな風にできるか確かめていって欲しいと思います。

おはしを何度も動かした後、みんなで名人へ向けて具体的なレベルを決めて設定しました。

レベル1 おはしを正しく持つ

レベル2 おはしを正しく持って動かす

レベル3 おはしを正しく持ってごはんつぶやおかずを集める

レベル4 おはしを上手にを使って食器をピカピカにする

レベル4まで達成したら、最高級のレベル5の目標は自分で決めていくことになりました。



友だち同士のペアでレベルを紹介し合い、理由を話す子やコツを述べ合う子どもたちがいました。最後に振り返りです。「今できないけど最後にできるようになりたい」「ごはんつぶやおかずを集めることをがんばりたい」先生とこんな話もしました。「がんばればできるに変わる！」と。

